

～ 運転免許の種類に「準中型免許」が新設されました ～

●平成29年3月12日、改正道路交通法が施行され「準中型免許」が新設されました●

「準中型免許」とは、車両総重量7.5トン未満、最大積載量4.5トン未満の自動車を運転することができる免許です。

準中型免許は18歳から取得が可能

「準中型免許」は、18歳から取得でき、かつ普通免許を受けていなくても取得が可能です。

普通免許で運転できる自動車の範囲が縮小

「準中型免許」の新設に伴い、普通免許で運転できる自動車の車両総重量が5トン未満から3.5トン未満へ、最大積載量が3トン未満から2トン未満へ引き下げられました。

なお、改正前に取得した普通免許は、従来どおりの範囲の自動車を運転することができる「5トン限定準中型免許」となりました。

準中型免許取得者への初心者マーク表示の義務化

「準中型免許」取得後1年未満に準中型自動車を運転するときは、初心者マークを表示しなければなりません。



運転免許改正の概要

	車両総重量 最大積載量	5t 3t	11t 6.5t
《改正前》 H29.3.11まで	普通免許	18歳以上	21歳以上
	中型免許	20歳以上	21歳以上
	大型免許	20歳以上	普通免許等経歴2年以上
《改正後》 H29.3.12以降	普通免許	18歳以上	21歳以上
	準中型免許	18歳以上	20歳以上
	中型免許	20歳以上	21歳以上
	大型免許	20歳以上	普通免許等経歴2年以上



(一財)岐阜県交通安全協会 第4回 こあんちゃん交通安全クイズ

応募資格 児童(12歳以下)及び高齢者(65歳以上)の方

正解者の中から抽選で200名様に、1,000円分の図書カードNEXTをプレゼント!

第1問

交通事故は1年を通して毎日発生しています。
そこで問題…毎年、子供の事故が多くなるのは何月頃でしょうか?

- ①…4月から5月 ②…6月から8月 ③…9月から11月

第2問

シートベルトやチャイルドシートは、交通事故からあなたの大切な命を守ります。
そこで問題…岐阜県における後部座席のシートベルトの着用率は何パーセントでしょうか?

- ①…36.0パーセント ②…45.7パーセント ③…81.4パーセント

第3問

飲酒運転を根絶するためには「3つの約束」を実践することが大切です。
そこで問題…3つの約束は「しない」、「させない」、もう一つは何でしょうか?

- ①…頼まない ②…放っておかない ③…許さない

【応募資格】12歳以下の児童、及び65歳以上の高齢者の方に限る

【応募方法】郵便はがきに、クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、下記宛先までご応募ください。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【宛先】〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 一般財団法人岐阜県交通安全協会「交通安全クイズ係」

【締切】平成29年7月20日(木) *当日消印有効

※ご応募を通じて収集した個人情報は、抽選等当クイズ業務以外の目的には使用いたしません。

交通遺児激励金へのご寄附のお願い

岐阜県では、皆様からの善意のご寄附をもとに、毎年5月5日のこどもの日を基準に、県内にお住まいの交通遺児の方々に対して激励金を支給しています。

趣旨に賛同いただき、ご寄附をくださる方は、

岐阜県環境生活部県民生活課(TEL 058-272-8205) までご連絡ください。

ご寄附いただきました皆様、誠にありがとうございました。(平成28年度中順不同、敬称略)

DreamPower 実行委員会/中濃消防組合交通安全青年部会/ぎふ長良川走ろう会/(一社)岐阜県道路交通安全施設業協会/神岡鉱業(株)猛打会/岐阜県民共済生活協同組合/(一社)岐阜県自動車会議所/全国共済農業協同組合連合会岐阜県本部/川島昌計/小幡雅彦/その他 匿名3名

※この他、(一社)岐阜県自家用自動車協会から交通安全啓発物品のご寄附を頂いております。

平成29年

夏の交通安全県民運動

スローガン

ゆずりあう心で 夏の交通事故防止



運転手さん

とまってください。

実施期間

7月11日(火)から7月20日(木)

平成28年度 JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクール
岐阜県知事賞 土岐市立肥田中学校 2年生(受賞当時) 岩井杏(あん)さんの作品

運動の重点

- 子供と高齢者の交通事故防止
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶



岐阜県交通安全対策協議会

事務局 岐阜県環境生活部県民生活課 交通安全・コミュニティ係 TEL:058-272-8205(直通)

平成29年 夏の交通安全県民運動実施要綱の要旨

1 運動の目的



夏本番を迎え、海や山では本格的なレジャーシーズンの到来となります。
この時期は

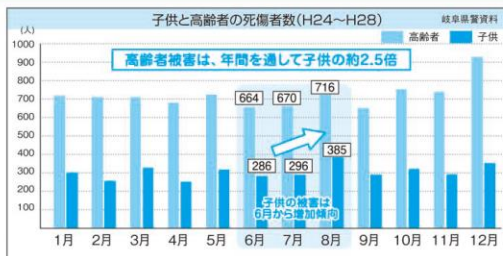
- ①行楽のために自動車を運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから注意力が散漫になった運転者による交通事故の発生
- ②夏休みを迎え屋外で遊ぶ子供たちや、日照時間が長くなり散歩などで外出する高齢者も増え、子供や高齢者が交通事故に巻き込まれる危険性が高まること
- ③行楽などのため家族・友人等複数人が一車両に乗車することで、交通事故が発生した場合、一度に沢山の方が被害に遭う危険性が高いこと
- ④夏特有の解放感や各種の祭礼などで飲酒の機会が増え、飲酒運転による交通事故の発生

が予想されます。
このような夏特有の情勢を踏まえて、地域ぐるみで運動の重点に取り組むことで、県民一人ひとりが交通安全意識を高めて交通事故の防止を図ることを目的とします。

2 運動の重点に関する推進項目

1 子供と高齢者の交通事故防止

- ・毎年6月から8月にかけて子供の事故が増加傾向にあります。
- ・高齢者は、年末をピークに、年間を通じて子供の2.5倍前後となる多くの交通事故の被害にあっています。



推進項目1

参加・体験・実践型交通安全教育の推進

- ・自転車及び歩行環境シミュレータ、シートベルトコンビンサーを活用した交通安全教室等に参加しましょう。
- ・自転車安全利用五則を実践し、被害者はもちろん、加害者（特に自転車）にならないようにしましょう。
- ・家庭や学校・職場で、「交通事故は身近で起きるもの」「自分の身は自分で守る」とした安全意識を高めましょう。



推進項目2 保護・誘導活動の推進

- ・子供や高齢者に「愛のひと声」をかけるなど、地域ぐるみで子供と高齢者を交通事故から守りましょう。
- ・運転者は子供や高齢者を見かけたら速度を落とすなど「思いやり運転」を推進しましょう。
- ・70歳以上の運転者は、高齢運転者標識（高齢者マーク）を表示しましょう。（表示努力義務）



2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

シートベルトとチャイルドシートは、突然やってくる交通事故から、あなたや同乗者の命を守ってくれます。夏の行楽期、高速乗合バスや貸切バス等に乗車する際も、全席シートベルト着用を徹底しましょう。

推進項目 シートベルト等非着用の危険性及び着用の必要性・効果の周知

平成28年中の交通死亡事故におけるシートベルトの非着用率は

50%!

非着用者のうち、約6割(11人)の方がシートベルトを着用していれば命を落とすことはなかったと思われます。

シートベルト着用率 平成28年・警察庁・JAF調べ

	一般道		高速道等	
	岐阜県	全国	岐阜県	全国
運転者	97.9%	98.5%	98.8%	99.5%
助手席同乗者	95.8%	94.9%	92.9%	98.0%
後部座席同乗者	45.7%	36.0%	62.4%	71.8%

チャイルドシート着用率 平成28年・警察庁・JAF調べ

	着用率
全国	64.2%
岐阜県	81.4%

チャイルドシート着用推進シンボルマーク
愛称：カチャビヨン



非着用の危険性

- 車内で全身を強打する可能性
- 車外に放り出される可能性
- 前席の人が被害を受ける可能性

正しい着用法



主なチャイルドシートの種類…抱っこでは子供の命は守れません

【新生児対応タイプ】 体重:18kg以下
年齢:新生児~4歳頃

【チャイルド&ジュニアシート】 体重:9~36kg以下
年齢:1~11歳頃

【ジュニアシート】 体重:15~36kg以下
年齢:3~11歳頃

画像:コニシ株式会社協力



3 飲酒運転の根絶

飲酒運転は、何の落ち度もない人の人生を破壊してしまう悪質な犯罪です。社会全体で、飲酒運転を「しない」「させない」「許さない」環境をつくりましょう。



推進項目1 飲酒運転をなくすための3つの約束の実践

- 約束1 お酒を飲んだら運転しない **【しない】**
- 約束2 運転する人にはお酒を飲ませない **【させない】**
- 約束3 お酒を飲んだ人には運転させない **【許さない】**

推進項目2 社会全体で飲酒運転を許さない環境づくりの推進

「乗り合わせ」「スリーチェック」キャンペーン

